

これからの茅野市のまちづくりのイメージと 総合計画の構成等について

これからの茅野市のまちづくりのイメージ ①

茅野市を訪れる人、茅野市に滞在する人、住む人、働く人など
あらゆる人が幸せを感じ、生涯に渡って活躍できるまち

Well-being（ウェルビーイング）（直訳すると、良い状態であること、幸福、健康、福祉など）

（世界保健機関（WHO）憲章前文）

"Health is a state of complete physical, mental and social **well-being** and not merely the absence of disease or infirmity."「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」

（SDG s 開発目標 3）

"Good Health and **Well-Being**"

「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」



人の力の最大化

これからの茅野市のまちづくりのイメージ ②

人口減少・少子高齢化時代を生き抜くため 新たな支え合いの仕組みにより人の力をつなげて、まちの力を創出

すでに
関わりが
ある人

- ・訪れる人、滞在する人、住む人、働く人
- ・これまで十分に社会参画できなかった
障害のある方や高齢者 など

人の力

- ・茅野市で起業・創業したい人
- ・都市部企業勤務のリモートワーカー
- ・知識と経験を有する移住者 など

新しい人

こうした人の、知識、経験、アイデア、創造力、感性など

新たな支え合いの仕組み

新たな価値観の共有

多様性を認め合い、誰一人
取り残さない社会、
持続可能な社会の実現

+

パートナーシップのまちづくり

- ・人の温かさはそのままに、これまでの
支え合いの仕組みを見直し、継承
- ・地域課題の解決に向けた主体的な「学び」
により地域力を向上

+

新たな手法の活用

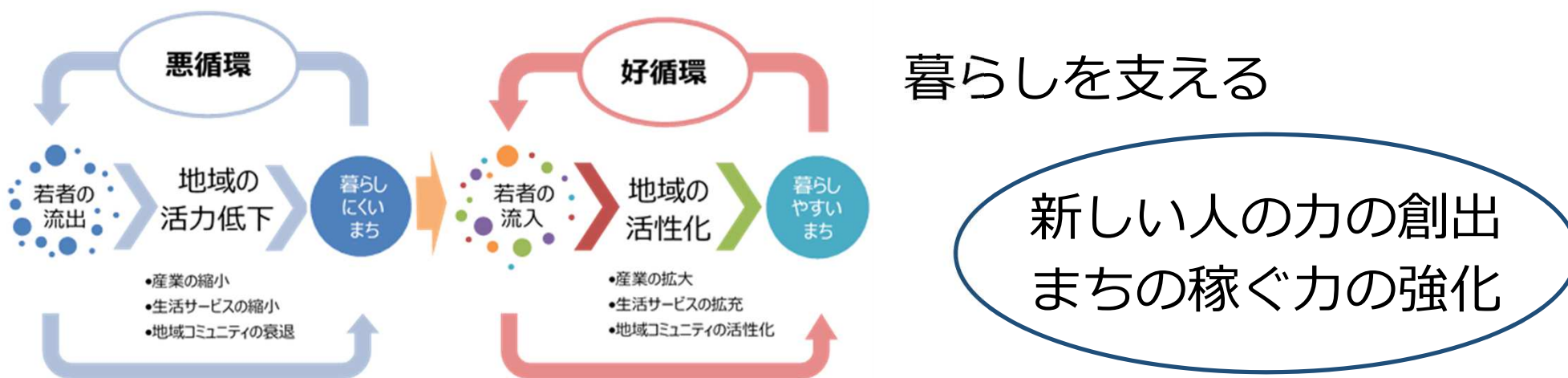
デジタル技術やデータを
活かしたDXによる効率化、
利便性の向上

まちの力

これからの茅野市のまちづくりのイメージ ③

若者に選ばれるまち（第2次茅野市総合戦略のテーマ）

訪問、滞在、二地域居住、移住・定住したい場所として若者に選ばれるまち



子どもからお年寄りまで
すべての市民が暮らしやすいまち

これからの茅野市のまちづくりのイメージ ④

DX デジタル・トランス
フォーメーション

×

ゼロカーボン

デジタル技術やデータを活用して地域の課題解決と市民の便利な暮らしの実現を目指します。

八ヶ岳の裾野に広がる豊かな自然環境を守り、育て、活かしながら、地球規模の環境問題に立ち向かいます。

未来を見据えた先進的で
持続可能なまちづくり

茅野市の強みの磨き上げ
世界共通の課題への積極的な対応

新しい産業や高付加価値な雇用などが生まれる
企業や投資が集まる

より多くの若者に選ばれ、より多くの人が行き交う

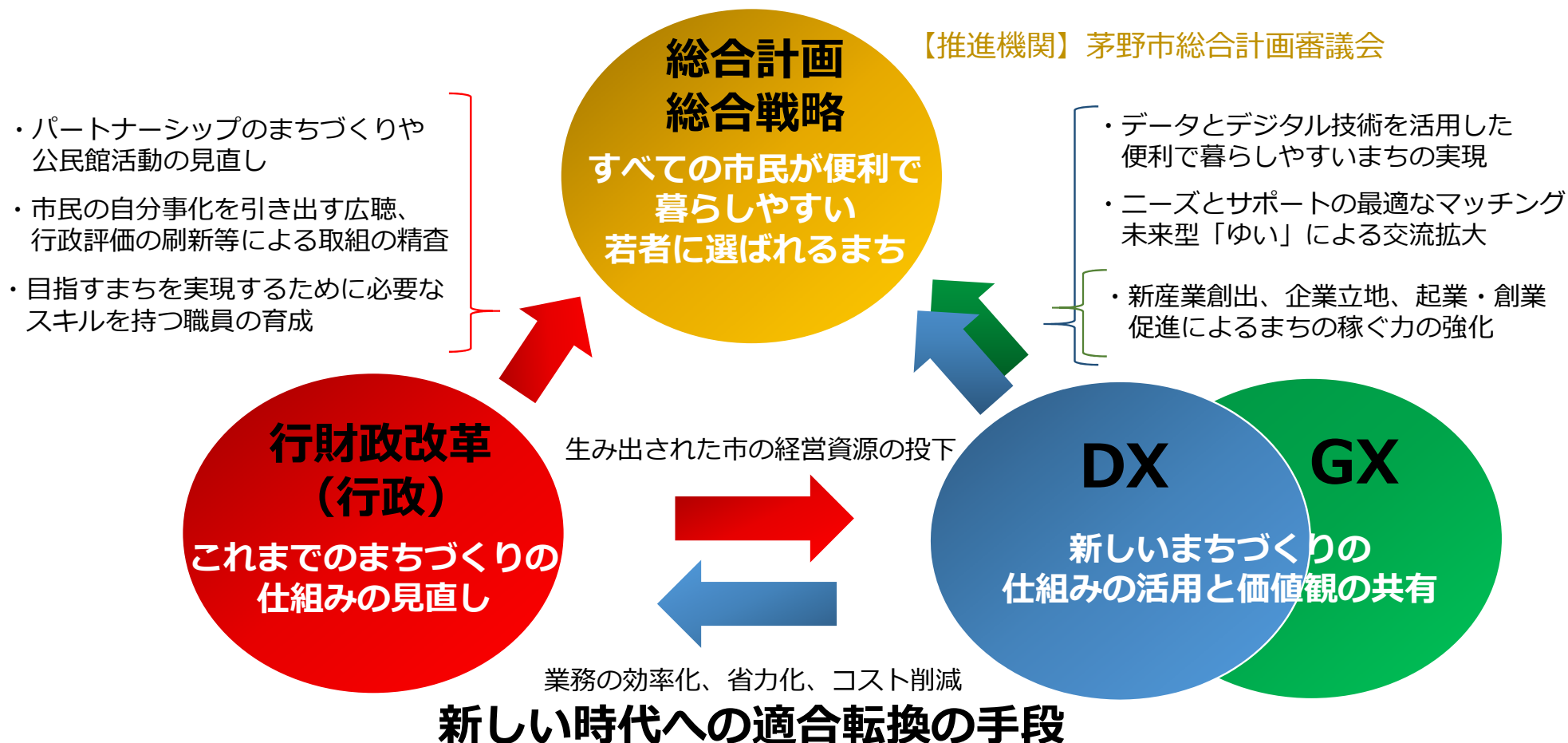
**子どもからお年寄りまで
すべての市民が便利で、より暮らしやすいまち**

さらなる
取組の
推進

さらなる
取組の
推進

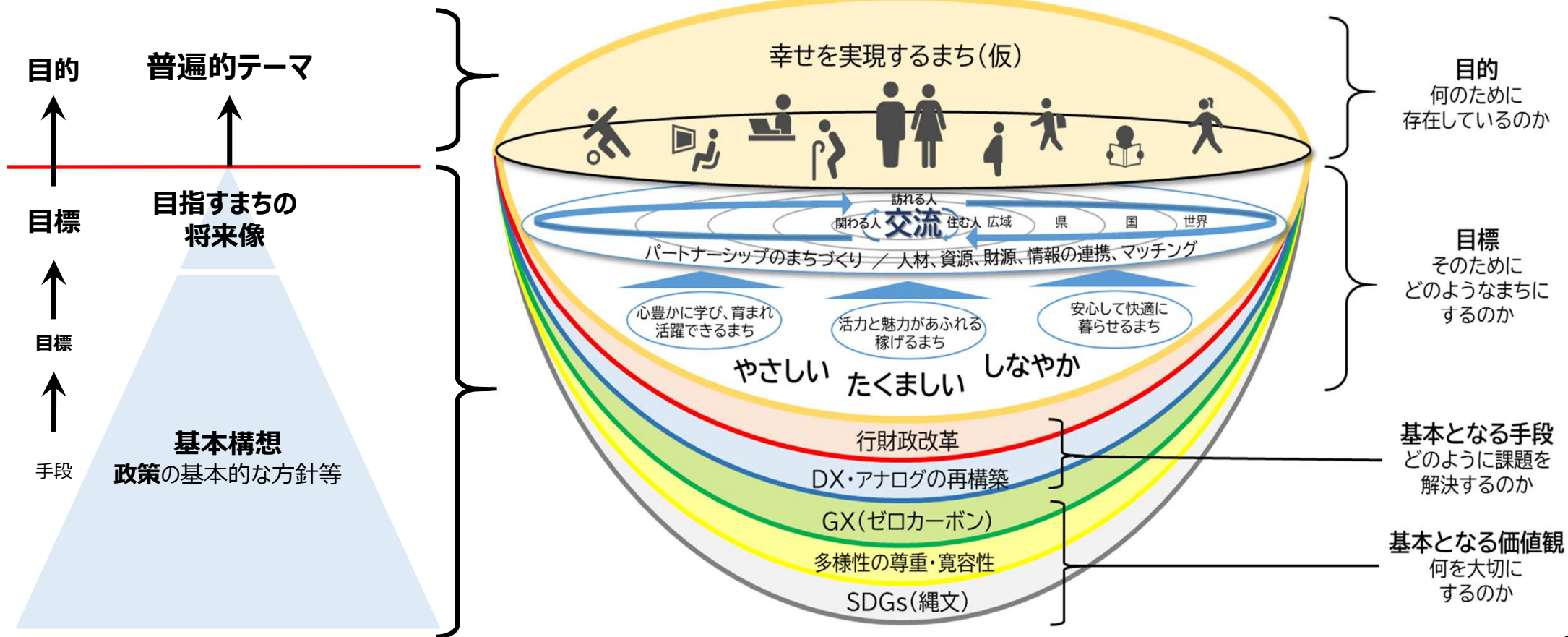
これからの茅野市のまちづくりスキーム（概念図）

人口減少の時代において、すべての市民が便利で暮らしやすい、若者に選ばれるまちを実現するために（総合計画、総合戦略）、新しい時代への適合転換の手段として、これまでのまちづくりの仕組みを見直す（行財政改革）とともに、新しいまちづくりの仕組みの活用（DX）と価値観（GX）を共有していきます。



第6次茅野市総合計画によるまちづくりのイメージ

第6次茅野市総合計画の構成



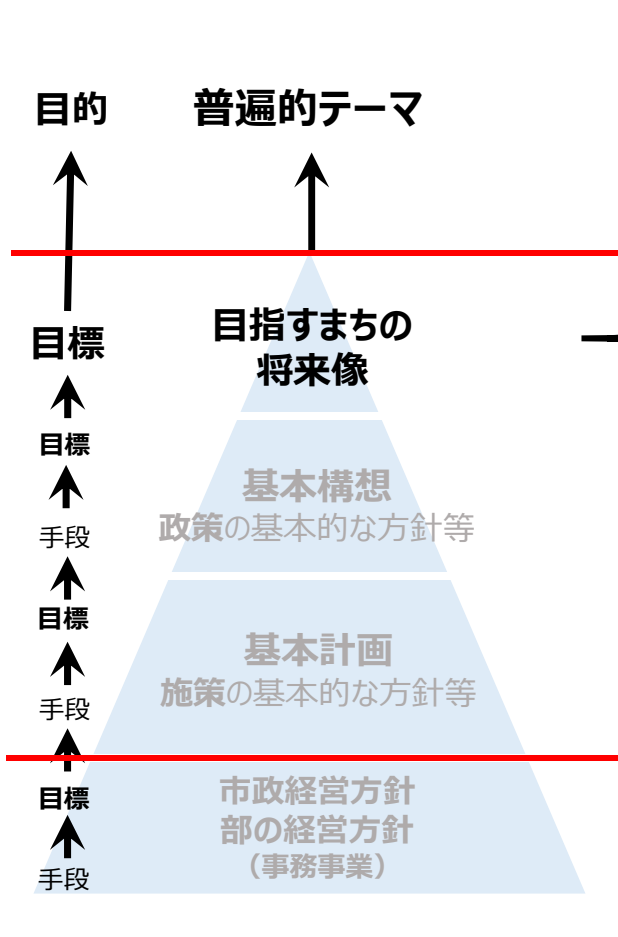
第6次総合計画の全体構成

第6次茅野市総合計画の構成

目的 ↑ 目標 ↑ 目標 ↑ 手段 ↑ 目標 ↑ 手段 ↑ 目標 ↑ 手段	普遍的テーマ ↑ 目指すまちの将来像 基本構想 政策の基本的な方針等 基本計画 施策の基本的な方針等 市政経営方針 部の経営方針 (事務事業)	5年 1年	「幸せを実現するまち」(仮) 「<u>たくましく やさしい しなやかな 交流拠点CHINO</u>」(仮) 基本構想 政策 「安心して快適に暮らせるまち」(仮) 「活力と魅力があふれる稼げるまち」(仮) 「心豊かに学び、育まれ、活躍できるまち」(仮) 基本となる手段 DX・AR、 行財政改革 基本となる価値観 GX、ダイバーシティ、 SDGs(縄文) 基本計画 ← 分野別計画をベースに、戦略的に施策をピックアップし、5年間で目指す方向性と主要事業の年次計画を施策ごとに定める 市政経営方針 ← 5年後の目標の達成に向けて重点施策を設定 部の経営方針 ← 各部の所管事業から戦略的に事業をピックアップ
---	---	-----------------------------	--

第6次総合計画の各階層の考え方① ～目指すまちの将来像～

第6次茅野市総合計画の構成



普遍的テーマ 「幸せを実現するまち（仮）」

より具体的な、目指すまちの将来像

「たくましく やさしい しなやかな 交流拠点CHINO」（仮）

将来像に込められた意味、思い

○たくましさ

ヒト・モノ・カネ・情報が集まることによる活気、災害に強いまち、市街地の賑わい、産業振興、健康、その人らしく生き抜くことができる強さ（福祉）

○やさしさ

子育て・教育、地域の担い手育成・支え合いの仕組（福祉、地域コミュニティ）、使う人にとって最適なインフラ、豊かな自然環境・景観

○しなやかさ

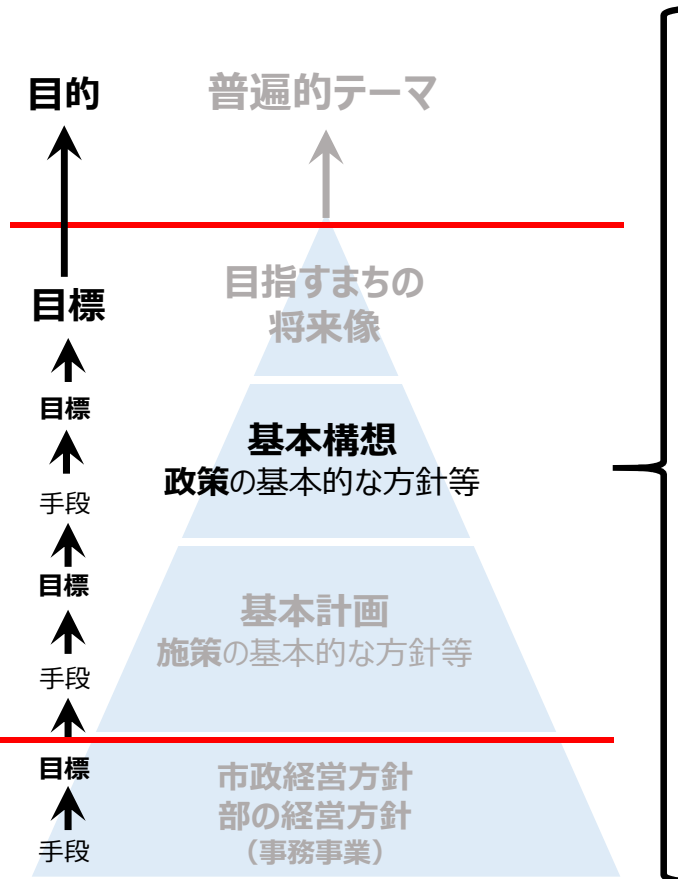
変化や困難を乗り越える柔軟性、生涯に渡って活躍するための学び・向上心、新しいことに挑戦し続ける前向きさ、多様性・寛容性、1万年続いた縄文文化

○交流拠点CHINO

茅野市に多様な主体が集い、出会い、交流することで、新たな価値や生きがい生まれ、より多くの人が行き交うようになる好循環が生まれているまちの状態

第6次総合計画の各階層の考え方③ ～基本構想～

第6次茅野市総合計画の構成



「たくましく やさしい しなやかな 交流拠点CHINO」(仮)

この将来像を実現するための具体的な **3つのまちの姿 (= 3つの政策の柱)**
交流拠点として求められるまちの姿を3つに集約

【安心・快適なまち】



- ・保健医療福祉
- ・環境、衛生
- ・都市基盤
- ・防災
- ・公共交通
- ・別荘地
- ・行政経営

【稼げるまち】



- ・産業経済振興
- ・観光地整備
- ・シティプロモーション
- ・企業誘致
- ・市街地活性化
- ・女性の就業、活躍
- ・多様な働き方の実現
- ・移住・テレワーク

【学び、活躍できるまち】



- ・子育て・教育
- ・文化・芸術
- ・読書
- ・生涯学習
- ・スポーツ
- ・人材育成
- ・多様性・ジェンダー
- ・地域コミュニティ

など